

令和5年度狛江市予算(案)

一般会計予算額

316 億 2,000 万円(前年度比3億円、1.0%増)

子育てしやすいまちづくりを推進するため、妊娠・出産・子育ての各ステージを切れ目なく、独自の支援も織り交ぜながら、子育て支援の充実を図る予算としました。

また、強盗殺人事件の発生を踏まえ、市全域での防犯対策を強化します。

この他、ゼロカーボンシティの推進、災害対策も踏まえたDXの推進、そして、「ほこみち制度」指定に向けた、狛江駅周辺のにぎわい創出事業にも取り組みます。

令和5年度の特徴的な事業

■子育てしやすいまちづくり

事業費 7,785 万円

◆子育て世帯の負担の軽減を図るため、市独自の支援を実施します。

【出産祝金給付事業】 1,208万円

子どもの健やかな成長を支援するため、新生児1人につき、2万円を給付します。

【小中学校給食の食材料費高騰分を支援】 1,323 万円

従前からの小中学校給食費のひと月当たり400 円の補助に加え、物価高騰による食材料費の値上がり分、ひと月当たり 200 円の補助を行います。

【市立小中学校在籍第3子目以降の給食費を無償化】 655 万円

多子世帯の負担を軽減するため、市立小中学校に在籍中の第3子目以降の給食費を無償化します。

◆妊娠・出産期から子育て期の各ステージを切れ目なく支援します。

【伴走型相談支援】 540 万円

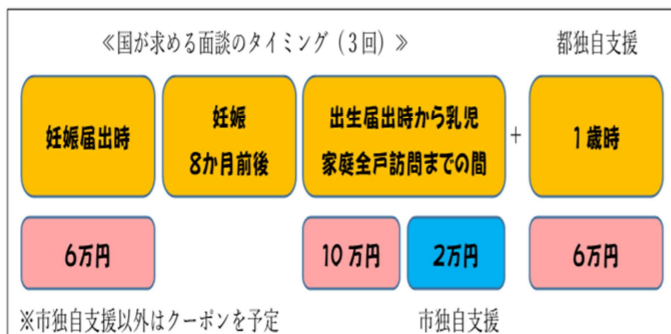
妊娠初期から中期、出生時、さらに、行政との関わりが少なくなる1歳または2歳にかけて、保健師との面談や母子手帳アプリを活用した伴走型支援を行い、より切れ目のない支援を実施します。

◆小学生の放課後対策として、学童クラブの待機児対策を進めます。

【学童クラブの待機児対策】 4,059 万円

- ・臨時の猪方こどもクラブを開設(定員 40 名)
- ・和泉小放課後クラブの定員を拡大(定員 50 名→70 名)
- ・令和7年4月の定員拡大に向けた工事設計(2施設 定員 120 名→200 名)

[予算書 P147 出産祝金給付事業(子ども政策課)、P269 学校給食費・P284 中学校給食費(学校教育課)、P173 母子保健事業関係費(健康推進課)、P161 放課後クラブ・P163 こどもクラブ(児童育成課)、P159 学童保育所維持管理費(施設課)]



■安心して暮らせる安全なまち

事業費 1,779 万円

◆強盗殺人事件の発生を踏まえ、市内全域で防犯対策を強化します。

【住宅等の防犯対策へ補助】 500 万円 **★多摩 26 市唯一★**

防犯カメラや人感センサーライト、防犯フィルム等の防犯対策を支援します。



【町会や自治会、商店街等への防犯カメラの整備費及び運用・維持管理経費を補助】 709 万円

- ☞ 町会・自治会、商店街等の防犯カメラの設置・更新に対して、その経費の一部を補助
- ☞ 防犯対策を継続的に支援するため、上記補助金により設置した防犯カメラの運用に係る経費(電気料、共架料)の全額及び維持管理に係る経費(保守点検料、修繕料)の一部を補助

【市内要所へ防犯カメラの設置、防犯キャンペーンの実施】 570 万円

市においても、要所へ防犯カメラを増設するとともに、調布警察署との連携による防犯キャンペーンを実施し、市内全域において防犯対策を強化します。

[予算書 P71 生活安全対策関係費・P72 安心で安全なまちづくり関係費(安心安全課)]

■ゼロカーボンシティの推進

事業費 3億 6,109 万円

◆ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、脱炭素社会の構築、地球温暖化防止に積極的に取り組みます。

【広域連携によるカーボン・オフセットを開始】 100 万円

長野県茅野市との連携協定に基づき、茅野市内の森林整備によって得られる二酸化炭素吸収量を、狛江市の二酸化炭素排出量と相殺するカーボン・オフセットの取組を始めます。

【100%再生可能エネルギー電気を、ほぼ全ての公共施設へ】 5,432 万円

指定管理や特殊電力を使用している施設を除く、ほぼ全ての公共施設に導入します。

☞ 0.55 千トン-CO2/年の削減(杉の木、約 39,000 本の吸収量に相当)

【プラスチック類ごみのリサイクルを開始】 3億 578 万円

これまで可燃ごみとしていたプラスチック類ごみをリサイクルする分別回収を開始します。

☞ 2.468 千トン-CO2/年の削減(杉の木、約 176,300 本の吸収量に相当)

[予算書 P187 地球温暖化対策関連事業(環境政策課)、P194 プラスチック類ごみ処理関係費(清掃課)、※100%再生可能エネルギー電気は、対象施設電気料の合算]



■狛江駅周辺にぎわい創出事業

事業費 1億 2,481 万円

◆狛江市の玄関口である狛江駅周辺に快適な歩行空間を形成し、まちのにぎわいの創出を図るため、「ほこみち」制度への指定及び工事の実施、また、エリアマネジメントの推進を図る官民連携での協議会を立ち上げます。

【にぎわいと快適な空間創出工事】 1億 1,492 万円

【エリアマネジメント協議会の立ち上げ】 989 万円

[予算書 P214 狛江駅周辺の快適な空間づくり事業(整備課)、P64 こまへのデザイン。(未来戦略室)]

